

令和3年度

名西高校野球部ニュース

大田ナミシC球場



ご挨拶

後援会長 山西国朗

日頃より名西高校硬式野球部の活動にご理解とご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度は、コロナ禍の中さまざまな大会が中止となりました。高校野球も、春のセンバツ、夏の選手権大会中止という今までにない残念な結果を余儀なくされました。甲子園を目指す高校球児にとって、とても悔しい思いをしたと思います。

そんな状況のもと、選手たちは『21世紀枠』徳島県代表校に選出されるという結果を残してくれました。これは選手たちの日頃の努力の結果だと思えます。

今年度も社会的には厳しい状況ではありますが、『甲子園出場』という大きな目標のため練習に励んでいきます。硬式野球部OB、同窓会の皆様、地域の皆様の応援をどうかよろしくお願い申し上げます。

また、後援会として微力ではありますが、名西高校硬式野球部の発展のため全力を尽くして参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



- PG. 1 後援会長 ご挨拶
- PG. 2 野球部紹介・練習試合戦績
- PG. 3 大会成績
- PG. 4 新聞記事
- PG. 8 協賛企業・後援会個人会員・個人会員ご加入のお願い



令和3年度 野球部紹介



3年

主将 村上 真央 (上板中)
 副主将 栗尾 俊輝 (上板中)
 川上 孔明 (城東中)
 小林 留偉 (国府中)
 坂本 将臣 (上板中)
 板東 大和 (上板中)
 三橋 祐哉 (石井中)
 山口雄太郎 (高浦中)

2年

岩本 永遠 (高浦中)
 馬越 歩 (城西中)
 大住 祐人 (石井中)
 切原 悠希 (上板中)
 谷口 颯良 (石井中)
 中海 遥陽 (石井中)
 林 孝篤 (鴨島東中)
 横畠 満洋 (石井中)

マネージャー

犬伏 和華
 大田 奈々
 小川まどか
 杉山 優羽

1年

鍛治 孝一 (城東中) *阿南シティホープ
 北原 周弥 (石井中)
 栞村 脩希 (高浦中)
 妹尾琉太郎 (阿波中) *徳島ウエストヤング
 野木 陽介 (石井中)
 宮崎 斗羽 (北島中) *徳島ホークス

部長 鎌田 啓幸 (保健体育)
 副部長 前川 智子 (実習助手)

コーチ 野原 成実
 塩田 稔樹

トレーナー 西浦 祥仁 (にしうら整骨院)
 監督 上田 一彦 (保健体育)

私たち名西高校硬式野球部は、『徳島1番』という目標を掲げ、日々練習に取り組んでいます。秋の大会では、ベスト4に進出し徳島県21世紀枠に選ばれました。1年生が入部し、人数も増え新チームとして新たに再スタートしました。春の大会では満足のいく結果が残せなかった中で、3年生最後の夏の大会では3度目の正直として徳島県1番になれるよう全力でがんばります。



大会成績

徳島県高等学校優勝野球大会

2020/7/18 1回戦 対阿南光高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名西	0	0	1	4	0	1	0	0	0	6
阿南光	2	1	4	0	0	0	0	0	0	7

(名)馬越太, 小林-小林, 馬越歩 (阿)井筒, 岩田, 森山-島
 ▽本塁打 伊東(名) ▽三塁打 後藤(名)

第73回徳島県高等学校野球秋季大会

2020/9/22 2回戦 対富岡西高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
名西	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	3	8
富岡西	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	5

(名)坂本, 小林, 村上-馬越 (富)上田-朝桐
 ▽本塁打 馬越(名) ▽三塁打 小林(名) ▽二塁打 小川(富) 横畠, 山口雄(名)

第73回徳島県高等学校野球秋季大会

2020/10/3 準決勝 対鳴門高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳴門	0	3	0	4	4					11
名西	0	0	0	1	0					1

5回コールドゲーム (鳴)前田, 富田-團 (名)坂本-馬越
 ▽二塁打 團, 三浦(鳴) 横畠(名)

第73回徳島県高等学校野球秋季大会

2020/9/20 1回戦 対那賀高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
名西	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	5
那賀	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4

(名)坂本, 小林, 村上-馬越 (那)大黒-大下
 ▽三塁打 山口雄(名) ▽二塁打 小林2(名) 大下(那)

第73回徳島県高等学校野球秋季大会

2020/9/26 準々決勝 対城北高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名西	2	0	0	0	0	0	3	0	0	5
城北	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3

(名)坂本, 小林-馬越 (城)伊藤, 森-大浦
 ▽二塁打 馬越, 山口雄(名)

第73回徳島県高等学校野球秋季大会

2020/10/4 3位決定戦 対徳島北高校 鳴門オロナミンC球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名西	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
徳島北	2	0	1	0	0	0	0	0	×	3

(名)小林, 村上-馬越 (徳)秋元-中桐
 ▽二塁打 山口雄, 小林(名) 長尾2(徳)

令和2年度練習試合戦績(前期)

月日	結果	相手校
5月30日	× 2-10	城西技
6月6日	× 5-16	科 技
	× 5-18	〃
6月7日	× 2-6	生 光
	× 2-13	〃
6月20日	× 0-10	小松島
	× 5-6	〃
6月21日	△ 3-3	海 部
	× 3-8	〃
6月27日	× 0-5	川 島
	× 7-8	〃
6月28日	○ 15-4	徳島市立
	○ 6-5	つるぎ
7月5日	○ 3-2	脇 町
7月12日	○ 12-1	穴 吹
	× 4-6	阿 波 西

令和2年度練習試合戦績(後期)

月日	結果	相手校
8月1日	× 7-8	吉野川
	△ 2-2	城北松
8月2日	× 5-10	三本松
	○ 11-7	〃
8月8日	○ 19-3	つるぎ
	○ 21-3	阿波西・穴吹
8月10日	× 2-4	阿波市立
8月14日	○ 15-2	徳島市立
	× 1-7	城 東 南
8月15日	× 3-7	城 〃
	△ 8-8	〃 西
8月21日	× 4-6	城 〃
	○ 5-1	〃 池田辻
8月23日	○ 6-1	〃 〃
	○ 6-5	〃 〃
8月31日	○ 4-1	徳 〃
	× 1-9	〃

月日	結果	相手校
9月5日	○ 9-3	つるぎ
9月6日	○ 13-1	小松島
	○ 1-0	〃
9月13日	○ 4-3	科 技
10月11日	○ 4-0	科 技
	× 1-7	〃
10月17日	○ 2-1	科 技
10月18日	○ 8-6	徳島市立
	× 1-2	〃
10月24日	○ 2-1	城北川
	× 1-2	吉野川
10月25日	× 7-8	池 田
	× 5-6	〃
10月31日	○ 7-0	鳴門渦潮

月日	結果	相手校
11月1日	× 4-9	徳島商業
	△ 3-3	〃
11月3日	○ 1-0	小松島西
	× 2-3	鳴門渦潮
11月8日	× 1-9	阿南光
	× 6-11	〃
11月14日	× 4-3	脇 町
	○ 4-3	〃
11月15日	× 0-8	富岡西
	× 7-20	〃
11月22日	○ 5-0	小松島
	× 0-3	阿波北
11月23日	× 2-3	〃
	○ 15-3	〃
	○ 12-4	〃



新聞記事


阿南光序盤に7点 名西追い上げ及ばず

【西条発】
名西0014010006
阿南光2140000007
阿南光が7点を挙げた。阿南光が逃げ切った。一回に大坂、藤の連打で2点を先制し、二回は四球と暴投などで1点を追加。三回には佐藤の走者一掃の中越え三塁打などで4得点した。七回以降は3番手の森山が

一安打無得点に抑えた。けたが、及ばなかった。名西は伊東の3点本塁打などで1点を追いついて上

2020(令和2)年7月19日 徳島新聞

阿南光リード守り切る



名西 3点本塁打で猛追

名西0014010006
阿南光2140000007
名西は伊東の3点本塁打で猛追したが、阿南光が序盤に効率よく加点した。三回、大坂の二塁打を皮切りに1点を加え、2死満塁から佐藤の三塁打で引き離した。3番手の1年生左腕・森山は最終盤を1安打に封じた。名西は4番伊東が豪快な3点本塁打を打ち、2番手小林が追加点を許さなかった。阿南光・佐藤両投手は中盤以降、相手投手のコースを突く投球で攻めにくかったが、全員で戦い勝つことができた。

名西・伊東大魁選手 公式戦の本塁打は初めて。チームに貢献する打撃ができてうれしかった。でも、最後の打席の凡退が悔しい。

阿南光・佐藤両投手は中盤以降、相手投手のコースを突く投球で攻めにくかったが、全員で戦い勝つことができた。

名西・伊東大魁選手 公式戦の本塁打は初めて。チームに貢献する打撃ができてうれしかった。でも、最後の打席の凡退が悔しい。

阿南光・佐藤両投手は中盤以降、相手投手のコースを突く投球で攻めにくかったが、全員で戦い勝つことができた。

名西・伊東大魁選手 公式戦の本塁打は初めて。チームに貢献する打撃ができてうれしかった。でも、最後の打席の凡退が悔しい。

2020(令和2)年7月19日 朝日新聞



名西

粘り強く守って勝機をうかがうのがチームのスタイル。大黒柱の石腕馬は130メートルの直球と変化球で打者を打ち取る。捕手小林と、センタースタッフの中央を担う山口、後藤の二遊間を中心に安定した守りで失点を防ぐ。打撃は「好球必打」を心掛け、長打力のある4番伊東の前にどれだけ走者を出せるかが鍵を握りそうだ。

部活の中断期間はトレーニングの指導で体力づくりに励んだ。甲子園出場を懸けた徳島大会の中止が決まり、努力が無駄にならなかったが、代替大会に救われた。3年生は「最高の夏にする」と気持ちを新たにしている。

3年生が今、力を注ぐのが後輩の指導。打撃フォームやサインプレーでの動きなど、これまでに

自分たちが教わった経験 一日でも長く野球をしたことや技術を伝え、チーム力向上の底上げを図っている。後藤主将は「一つでも多く勝ってチームメイトと1回戦 8-9回戦」

【県秋季大会の成績】

2020(令和2)年7月5日 徳島新聞



